



令和 6 年 11 月 11 日  
午前・午後 11 時 55 分 受領

No. 1

令和 6 年 11 月 11 日

議長	事務局長	係

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会議員 尾崎 恵一

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
<p>1. 愛南町の人口減少問題について</p> <p>国の人口問題研究所によると、2060年の愛南町の将来推計人口は5,558人とされている。一方、町は第3次総合計画において、2060年の将来人口展望を10,037人と設定している。この将来人口のずれは、町が将来の人口減少を防ぐために積極的な取り組みを行っていることを示している。</p> <p>町は、地域の魅力を高め、若者の定住を促進するために、以下のようなさまざまな施策を講じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援の充実</li> <li>移住の促進</li> <li>地域経済の活性化に向けた取り組み</li> </ul> <p>これらの施策が実を結び、人口目標を達成することで、町の持続可能な発展が期待される。</p> <p>しかしながら現状では、若年層の町外への流出と少子高齢化の進展により、町全体の人口は急速に減少し続けており、非常に深刻な問題となっている。</p> <p>少子化により教育の現場では、南宇和高校の定員割れや学校統廃合による再編計画が進行中である。また、若年層の流出と高齢化により、地元産業の深刻な人手不足や地域経済、コミュニティの衰退が進んでいる。さらに、</p>	町長

老朽化した空き家の増加や公共サービスの維持困難など、様々な問題が生じている。

町にとって人口減少の抑制は、今後の維持発展に対して非常に重要な意義を持っている。このことから、以下の点について質問する。

- (1) 人口減少抑制を町長はどのように進める方針であるか。
- (2) 愛南町の人口減少の現状とその要因をどのように捉えているのか。
- (3) 現在行われている具体的な施策における成果と課題をどう評価しているのか。
- (4) 今後の展望と新たな取り組みについて。